

家庭教育 なう vol.3



2021年6月発行
 恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 嶋倉
 〒509-7203 恵那市長島町正家後田1067-71

TEL 0573-26-1111 〈内線209〉
 FAX 0573-25-7129
 Mail shimakura-shinzo@pref.gifu.lg.jp



県からの説明のあと、サロン型で意見交流する担当者の皆さん

家庭教育学級リーダー研修会を分散形式で開始しました。その第一回は、6月2日、中津川市公民館主事（乳幼児学級担当者）研修会に県担当者がお邪魔して講話する形で行いました。中津川市では各公民館で工夫された乳幼児学級が行われています。昨年は9月まで開催できなかったそうですが、「開催を待っている人がいるから開設するべきだ」と、10月に開級したということでした。今年もコロナ蔓延防止のため、どの公民館も開級は6月以降の予定ですが、この研修会で他の公民館と情報交流し、準備を開始するそうです。

家庭教育学級リーダー研修会 分散開催でスタート 今回は、公民館等の乳幼児学級担当者向けのお便りです



熱心に意見交流される様子を専門職も参観しました

この研修会では、家庭教育専門職からの話の後、サロン型の意見交流が行われました。（これが大切なんです！）
 話題は、やはりコロナ禍での学級を行うことで心配な「密をどう回避するか」「人集めをどうしたいか」ということが中心になりました。「親が椅子席で車座になりその輪の中で子どもを遊ばせる」「まち協でインスタをやっていてそれで啓発してもらおうと反応が良かった」など、活用できそうなアイデアも出ていました。一方、共働きの親が多い中、平日で日中の開催は参加しづらく、現代の状況にあっていないのではないかと、今後の学級の在り方に一石を投じる意見もありました。



参加者のご感想です



- ▽ 乳幼児学級の意義を知る事ができ、とても勉強になった。
- ▽ 親同士の仲が良くないと、子どもに悪影響を与えるのは当然の事だと思う。それを防ぐ為にも乳幼児学級を市民にとってより身近なものに出来るように取り組んでいきたい。
- ▽ 今日のお話は担当者だけではなく、乳幼児期のお子さんの親御さん、それも母親だけでなく、父親にも聞かせなければならぬ事だと感じました。
- ▽ 乳幼児学級の開催日もそうだが、家庭教育に関する行事が主に平日開催という事に問題があると思う。
- ▽ 悩んでいても自己完結で終わらせてしまうと、思うので交流が出来ず、それが子どもの孤立にも繋がってしまう。運営について改めて検討しなくてはならないと思う。
- ▽ 乳幼児学級を運営していくポイントを分かりやすく話して下さり、コロナ禍で、自分の立ち位置がよく分からなくなっていたので、確認出来て良かった。

